

と環境と  
栄グルー  
大石

# 上益城5町と基本協定

## エネルギー施設の環境アセス

御船町にエネルギー回収施設等の整備を計画している廃棄物処理国内大手の大栄環境(大阪府)と石坂グループ(熊本市東区)は3月28日、県庁で上益城5町と環境アセスメント実施等に向けた基本協定を結んだ。環境アセス期間は3年程度を予定している。

御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の5町は、廃棄物の焼却施設等の整備を御船町に計画。2025年度の供用開始を目指していたが、熊本地震の復旧復興事業により、各町の財政状況が悪化したため、30年度以降に変更している。

立地企業がリサイクル施設(900ト/日)、エネルギー回収施設(400ト/日)、メタン発酵施設(30ト/日)、堆肥化施設(60ト/日)などを整備する。投資額は最大で約200億円を見込んでいる。

予定地の造成は5町で構成する上益城広域連合が実施し、事業者が貸し付ける。用地取得を進めており、現時点の取得率は97.8%としている。当初計画の敷地面積は約12畝で、造成費は約12億円を見込んでいた。

調印式には、大栄環境の金子文雄代表取締役社長、石坂グループの石坂孝光代表理事、上益城5町の首長に加え、立会人として蒲島都夫知事が出席した。

5町を代表して嘉島町



大栄環境と石坂グループから立地計画の提案があり、民間事業者主体での運営を検討。5町は民間を活用することで、施設初期投資が不要となり、固定資産税等の収入が得られ、90人程度の雇用が生まれるなどのメリットがある。同10月には施設整備に係る覚書を結んだ。

建設地は、御船町上野(古閑原・古閑迫地区)の民有地。

予定地の造成は5町で構成する上益城広域連合が実施し、事業者が貸し付ける。用地取得を進めており、現時点の取得率は97.8%としている。

熊本市造園建設業協会(古村昌洋会長)は3月26日、熊本市中央区の水前寺江津湖公園・芭蕉園で、バショウの伐採作業に取り組んだ。造園技術を生かした協会ボランティア活動。時折激しい雨が降る中、会員70人が作業にあたった。

が早い  
り、見  
しまう  
は毎年  
して間  
ている  
参加

## 江津湖でバショウ伐採

熊本市 雨の中、ボランティア

市立図書館の裏手にある芭蕉園は、多くの市民が訪れる癒しスポット。多年草のバショウが水辺に群生しているが、成長

り、  
取り  
は「  
都市  
の  
園者  
と  
湖を  
きれ  
でも  
てい

## 八洲開発が菊池市に寄附金

地質調査やさく井工事などを手掛ける八洲開発(熊本市東区月出、田北廣社長)は、菊池市

実市長から田北社長に感謝状が手渡された。

24日は、田北社長と村田賢彦取締役管理部長が市役所を訪れ、田北社長は「感謝の気持ちを形にできないかと数年前から考えていた。近年全国で多発する災害を踏まえ、防災関係のプロジェクトで協力したい」と寄

地域の防災関係に役立ててもらおうと、企業版ふるさと納税制度を活用して寄附金100万円を市に贈った。3月24日に江頭

同制度は、地方公共団体が進める地方創生のプロジェクトに対し、企業が寄附による応援を行うもの。市では昨年10月から制度を導入しており、同社の寄

附の経緯を説明。更に「菊池市は歴史豊かな地域でもあり、今後、歴史文化に関わる事業に

## 地域の防災に役立てて

附は第2号となる。

も参画させて頂ければ」と支援を継続していく考えも示した。

今年で創業63年を迎える同社は、1983(昭和58)年にボイリング機械などの整備・点検を行う「機材センター」を市旭志川辺の熊本北工業団地に開設。以来、調査技術の中心施設としておよそ40年間にわたり市に拠点を置いている。

江頭市長は「特に高い技術力を持ち、熊本地震や令和2年7月豪雨においては早急な対応で地域の安全に尽力している。貴重な寄附金は、御社の意向に添って防災関係の費用に有効活用する」と感謝した。

鹿本地域振興局の土木部長表彰式が3月25日に同局庁舎であり、優良工事部門3社、働き方改革部門1社を表彰した。

の豪雨  
が不足  
力と徹  
現場の  
工夫や  
進技術  
れた」  
手渡し  
受賞  
持つて  
の向上

## 優良工事3社、働き

鹿本地域振興局の上



り、  
取り  
は「  
都市  
の  
園者  
と  
湖を  
きれ  
でも  
てい



田北社長(左)に感謝状が贈られた